

令和8年第3回（6月）定例会一般質問通告一覧表

令和8年6月19日（金）

番号	氏名	質問事項
1	2番議員 堤 弘行	<ul style="list-style-type: none"> ・東かがわ地域経営機構等との三者連携協定について ・こども園の地震対策強化について ・市役所窓口開庁時間の短縮について
2	8番議員 工藤 潔香	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動の地域展開について
3	12番議員 田中 貞男	<ul style="list-style-type: none"> ・県立三本松高等学校について ・地域通貨カードを作る考えは ・中学校の修学旅行について ・高齢者の見守りに関する警察との連携について
4	1番議員 小松 千樹	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場について
5	15番議員 東本 政行	<ul style="list-style-type: none"> ・旧白鳥温泉の再開に合わせたバス路線の復活について ・学校での主権者教育について ・予備自衛官等兼業特例法成立後の市職員への影響について ・市の施設におけるトイレ設置数の男女差の適正化を
6	11番議員 大田 稔子	<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストグローブ事業の再開について ・芝桜の名所について ・改正地域公共交通活性化再生法について
7	13番議員 橋本 守	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型・探求型の校外学習の実施について
8	7番議員 田中 久司	<ul style="list-style-type: none"> ・東かがわP a yの成果検証と今後の展開について ・ため池の防災管理及び水利組合の解散に対する対応について
9	10番議員 山口 大輔	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税における子ども・子育て支援及び若者支援の明記について ・家事支援の国家資格化による本市の介護・福祉・子育て施策への影響について ・H i L M Oの将来構想と地域経営戦略について



受領 令和 8 年 6 月 3 日 午後 2 時 30 分

令和 8 年 6 月 3 日

東かがわ市議会議長
工 藤 正 和 殿

東かがわ市議会議員 堤 弘行



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
(1)東かがわ地域経営機構等との三者連携協定について	<p>今年 5 月、本市は、一般社団法人東かがわ地域経営機構及びジオテクノロジー株式会社と、本市の「特産物」と豊かな自然の中で得られる「感動体験」の認知度を高め、関係人口の創出・拡大を目指すことを目的とした三者連携協定を締結しています。</p> <p>これを踏まえて、次の 4 点を質問致します。</p> <p>(1) 具体的にどのような「感動体験」を目指しているのか。また、どのように認知度を高めていくのか。</p> <p>(2) ターゲットやエリアなど、どの範囲での関係人口の創出を目指しているのか。</p> <p>(3) ジオテクノロジー株式会社は、本協定において具体的にどのように連携していくのか。</p> <p>(4) 本協定をどのように本市の「稼ぐまちづくり」につなげていくのか。</p>	市長
(2)こども園の地震対策強化について	<p>令和 7 年 1 2 月 3 日付け四国新聞の報道によると、本年度、県は、こども園の地震対策を強化するとされています。本市においても、今後起こりうる南海トラフ地震などの巨大地震から未就学の園児たちを守るための安全対策が必要であると考えます。</p> <p>これを踏まえて、次の 3 点を質問致します。</p> <p>(1) 本市のこども園における地震対策の現状は、どのようなになっているのか。</p> <p>(2) 本市のこども園における地震対策の今後の取組</p>	教育長

<p>(3)市役所 窓口開庁 時間の短 縮につい て</p>	<p>の方向性については、どのように考えているか。</p> <p>(3) こども園における取組を進めるにあたって防災士などの意見を取り入れていく考えはあるのか。</p> <p>近年、全国の自治体においては、仕事と生活の調和であるワークライフバランスを実現するため、職員の働き方改革や業務効率化の観点から、窓口開庁時間を短縮する動きが広がってきています。一方で、窓口開庁時間を短くすることにより、行政サービスや利便性の低下を招く恐れもあると考えます。そこで、本市では、窓口開庁時間の短縮についてどのように考えているのか、質問致します。</p>	<p>市長</p>
--	--	-----------



受領 令和 8 年 6 月 5 日 午後 2 時 48 分

令和 8 年 6 月 5 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員

工藤 潔香



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
中学校部活動の地域展開について	<p>本市においては、教育委員会内に「東かがわクラブ」を設立し、休日の地域展開が段階的に進められている。生徒の活動機会の確保と教員の負担軽減の両立を図っているが、現状はまだ過渡期であると思われる。</p> <p>また、国が進める部活動改革は令和 5 年度から令和 7 年度までの「改革推進期間」が終了し、令和 8 年度から新たに「改革実行期間」がスタートしている。</p> <p>そのことを踏まえ、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 休日における地域展開の進捗状況は。2. 現在地域展開されていない種目について、今後の方向性と展開時期は。3. 地域クラブやスポーツ少年団などが運営している社会体育種目（バドミントン、水泳、陸上など）における取扱いと今後の方向性は。	教育長



受領 令和 8 年 6 月 5 日 午後 2 時 50 分

令和 8 年 6 月 5 日

東かがわ市議会議長
工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 田中貞男



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
県立三本松高等学校について	<p>市内唯一の高校である県立三本松高等学校の将来的な存続のために、高校や県と連携をしていくことが重要と考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 さぬき市では、3高校が統合し2030年に一つの高校になることで計画が進んでいる。東かがわ市へ与える影響をどう考えているのか。2 現在、市では地域連携教育推進事業として県立高校教育振興助成金40万円を交付している。交付金の増額やその他の支援を行うなど、内容を拡充する考えはあるのか。3 他自治体の事例として、人口約5,000人の広島県安芸太田町は、町内唯一の県立高等学校に対して様々な支援を行っているという。このような取組を参考にし、本市も県立三本松高等学校の将来的な存続を協議する組織を立ち上げてはどうか。	市長 教育長
地域通貨カードを作る考えは	<p>東かがわPayに関する事業成果を踏まえ、アプリだけでなく地域通貨カードを作る必要性について、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 令和7年度東かがわPay Superプレミアム付デジタル商品券事業及び令和8年度東かがわPay Superプレミアムポイント事業のそれぞれの申込者数は。2 他自治体の事例をみると、地域通貨をデジタルのアプリだけでなく、アナログのカードを併用しているところもある。これにより、市民が誰でも気軽に利用することができると思うが、これまでの事業成果を踏まえ、カード形式を導入する考えは。	市長

<p>中学校の修学旅行について</p>	<p>3 広島県安芸太田町では、国の補助金などを活用しながら、地域通貨カード(アプリも併用可)を利用して、定額タクシーをデマンド型交通として進化させ、利便性を向上させている。このようにカードの利便性を生かして地域通貨(東かがわPay)の用途をさらに拡充する考えは。</p> <p>令和8年第2回定例会で同僚議員が中学校の修学旅行費の無償化について一般質問を行った際、現在は広島・長崎方面の3泊4日で実施しているとの答弁だった。今後の課題として、交通費や宿泊費の高騰が挙げられていたが、その課題を踏まえ、来年度以降の修学旅行の計画内容について伺う。</p>	<p>教育長</p>
<p>高齢者の見守りに関する警察との連携について</p>	<p>高齢化が進んでいる本市において、安心安全なまちづくりには、市と警察が持っている情報を相互に活用するなど連携が必要と考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市における75歳以上の一人暮らし及び高齢者のみの世帯について、世帯数及び人数の実態は。 2 高齢者の見守りについて、警察との連絡や協議などはどのように行っているのか。 3 地域の福祉活動として、民生委員が見守り活動を行っている。この活動において警察との情報共有や見守りの連携も考えていく必要があると思うが、取り組む考えは。 	<p>市長</p>



受領 令和8年6月5日 午後2時58分

令和8年6月5日

東かがわ市議会議長
工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 小松 千樹



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
子どもの遊び場について	<p>子育て世代から、雨の日や真夏でも、子どもが思い切り体を動かして遊べる屋内の遊び場が市内にほしいという切実な声を聞く。子育て環境の充実に向け、屋内遊び場の整備について伺う。</p> <p>1、子育て世代から市に対して遊び場についての要望はあるか。 2、公共施設の再配置や統廃合に伴って生じる未利用スペースを活用し、全天候型の屋内子ども遊び場を整備する考えは。</p>	市長 教育長



受領 令和 8 年 6 月 9 日 午前 9 時 50 分

令和 8 年 6 月 9 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 東本 政行



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
(1) 旧白鳥温泉の再開に合わせたバス路線の復活について	旧白鳥温泉は来年夏頃に民間事業者の温浴施設として再開される予定であり、多くの市民から歓迎の声を聞く。同時に高齢者からは、旧白鳥温泉までのバス路線復活が必要との強い声がある。 このような市民の声を踏まえ、バス事業者と早々に交渉を進めてはどうか。	市長
(2) 学校での主権者教育について	今年 3 月、名護市辺野古沖で平和学習の視察中に起きた事故に対して、文部科学省は先月 22 日、教育基本法第 14 条第 2 項に違反するとした異例の見解を発表した。この見解は、平和学習等に取り組んでいる本市も含め、全国の学校を萎縮させかねないと考えられる。 ① 今回の文科省の見解を教育長はどのように捉えているか。また、本市の平和学習の取組や教育への影響はないか。 ② 子どもたちへの主権者教育で大切なのは、先の戦争の真実と日本国憲法の学習だと考えるが、本市では、これらの教育はどのように行っているか。	教育長
(3) 予備自衛官等兼業特例法成立後の市職員への影響について	現在、国会において、国家・地方公務員の職務専念義務の免除と兼業の許可に特例を設け、予備自衛官等への任用を拡大する「予備自衛官等兼業特例法案」が審議されている。憲法の下で市職員は、全体の奉仕者として働いており、兼業が本来の業務に支障を与えてはならないと考える。また、任命権者の許可を要することなく予備自衛官等の任務に当たることになれば、本市職員の人手不足や市民サービスの低下につながらないかが懸念される。 特例法成立後の本市職員や本市への影響について、どのように捉えているか。	市長

<p>(4) 市の施設におけるトイレ設置数の男女差の適正化を</p>	<p>国土交通省は、女性トイレの行列問題を解消するため、利用者が男女同数の施設では、女性用便器の数を男性用（個室・小便器の合計）と同数以上にするという指針案をまとめた。</p> <p>① 本市でも市の施設を調査し、トイレ設置数において男女差の適正化に取り組んではどうか。</p> <p>② 今後の公共施設建設の際、国土交通省の指針を取り入れてはどうか。</p>	<p>市長</p>
------------------------------------	--	-----------



受領 令和 8 年 6 月 9 日 午前 9 時 55 分

令和 8 年 6 月 9 日

東かがわ市議会議長

工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員

大田 稔子



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
ファーストグローブ事業の再開について	<p>以前実施していた、新生児とその保護者に手袋を贈るファーストグローブ事業は、子育て世帯への祝福にとどまらず、市民としての地域への愛着形成、手袋産業の認知向上、市のブランド発信につながる施策であったと考える。</p> <p>そこで、同事業が廃止された経緯と課題を踏まえつつ、本年 3 月に策定したシティプロモーション戦略と連動した形で、ファーストグローブ事業の再開を検討すべきではないか。市長の見解を伺う。</p>	市長
芝桜の名所について	<p>本市には、個人の方が長年にわたり、コツコツと整備を続けてこられた芝桜の名所がある。この芝桜の名所を市の観光資源として、どのように生かしていくのかを、今の段階から検討する必要があると考える。そこで、以下について市長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. この芝桜の名所について市は観光資源としてどのように認識しているのか。2. 整備を続けてこられた方の高齢化により、維持・継続が難しくなるリスクを市はどのように受け止めているのか。3. 令和 9 年度に大内白鳥バイパスが開通する見通しであることを踏まえ、今後の観光動線上の資源として活用する可能性をどう考えるのか。4. 関係者との協議などを行いながら、支援・連携をしていく可能性について、市としてどう考えるのか。	市長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
改正地域公共交通活性化再生法について	<p>5. 市の観光戦略の中に、観光資源として位置づけ支えていく仕組みをつくるべきではないか。</p> <p>本市では、免許を持たない高齢者への外出支援としてタクシーチケット事業を実施しており一定の成果がある一方で、解決しきれない課題もあると考える。</p> <p>そのような中、今年成立した改正地域公共交通活性化再生法により、「交通空白」等の解消に向け、自治体が主導して運送主体を選定し、運転者や車両等について他者からの協力のあっせん等を行う「自動車地域旅客運送サービス再構築事業」が創設された。</p> <p>今後、高齢化や免許返納が進む中で、買い物、通院、地域活動への参加など、日常生活を支える移動手段の確保は、さらに重要な課題となる。そこで、以下について市長に見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の法改正により、交通空白の解消に向けた取組が進めやすくなったと考えるが、市として、この法改正をどのように受け止めているのか。 2. 本市におけるタクシーチケット事業の課題は何か。 3. 地域住民による移動支援（ボランティア送迎）などを含め、地域の実情に応じた新たな移動支援の仕組みを検討する考えはあるか。 	市長



受領 令和 8 年 6 月 9 日 午前 10 時 00 分

令和8年6月9日

東かがわ市議会議長

工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 橋本 守



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
体験型・探求型の校外学習の実施について	<p>小学校学習指導要領の第6章「特別活動」によると、遠足・集団宿泊的行事については、単なるレクリエーションではなく、「見聞を広めること」や「自然・文化への親しみ」を通じて、自己をいかす能力や社会性を養うことが本来の目的であり、これらのことから、現状の行き先に加えて、更なる選択肢の検討が必要ではないかと考える。</p> <p>学習指導要領の目的を踏まえ、既存の枠組みにとらわれない、多様な学びの場の提供について、下記のとおり教育長の見解を伺う。</p> <p>1 現在の校外学習の行き先を選定するに当たり、学習指導要領に掲げられている「見聞を広め、自然や文化などに親しむ」という教育的意図は、具体的にどのように反映されているのか。</p> <p>2 地域愛着心の醸成の観点からも郷土愛を育む「ふるさと教育」の視点も必要と考える。児童が地域の歴史的背景や、自然環境、伝統的な芸術文化に触れる機会を増やすため、例えば、引田城跡、大坂峠など本市固有の文化資源を積極的に取り入れて実施する考えはないか。</p> <p>3 学校が新しい校外学習の行き先を選定する際、下見の調整や費用の負担が障壁となることが予想される。行き先の選定や情報提供等、教育委員会としてどのようなサポート体制を取るのか。</p>	教育長



受領 令和 8年 6月 9日 午後 2時 3分

令和 8年 6月 9日

東かがわ市議会議長
工藤正和 殿

東かがわ市議会議員 田中久司



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
東かがわ Pay の成果検証と今後の展開について	<p>東かがわ市が推進する東かがわ Pay については、地域経済の活性化や市民活動の促進を目的として昨年より実施されているが、今後の持続的な運用のためには、利用実績だけでなく地域経済への効果や市民サービス向上の観点から検証を行う必要があると考える。そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 東かがわ Pay の導入目的を踏まえ、これまでの成果をどのように評価しているのか。2. 効果測定にあたって、登録者数や決済額だけにとどまらず、市内の経済循環や利益の市外流出抑制などの経済波及効果について分析は行っているのか。また、市内大型量販店と小規模事業者との利用状況の違いはどうか。3. 全体の利用状況の中で、高齢者の利用状況はどうか。また、スマートフォン利用が困難な市民を含めた今後の支援策はどう考えているか。4. 行政サービスとの連携や地域課題解決型のデジタルポイント制度など、今後どのような取組を検討しているのか。5. これまでは、プレミアムデジタル商品券など、国の補助制度を利用した事業を実施してきたが、今後、事業の持続可能性については、どのように考えるか。	市長

<p>ため池の防災管理及び水利組合の解散に対する対応について</p>	<p>現在、本市においては、153か所が防災重点農業用ため池として指定されているが、高齢化や担い手不足の理由で、管理者である水利組合より受益地や水利権の返上と組合の解散を申し入れるケースがある。しかしながら、条件によっては、法令により管理者を設置する義務が生じ、解散が難しいという問題が生じていると聞く。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ため池の管理状況及びそれを管理する水利組合の体制について、市は把握しているか。また、防災上の管理基準及びため池の廃止についての基準はどのようになっているか。 2. 解散を申し入れた水利組合が管理するため池が、廃止の条件に該当せず、引き続き管理者の設置が義務付けられる場合、市として具体的にどのような対応を考えているか。 3. 現在、管理者、土地改良区、水利組合、自治会などで構成される管理協議会において管理者設置の取り決めはあるが、ため池の規模、老朽度の条件が前提である。同協議会における管理者の選定や調整のプロセスについて、今後の方向性を市はどのように考えているか。 4. 高齢化等による水利組合の解散は今後も増えることが予想されるが、ため池の管理における高齢化や担い手不足に対して、市として具体的な支援策を講じる考えはあるか。 	<p>市長</p>
------------------------------------	--	-----------



令和 8 年 6 月 9 日 午後 3 時 25 分

令和 8 年 6 月 9 日

東かがわ市議会議長
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 山口 大輔



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
ふるさと納税における子ども・子育て支援及び若者支援の明記について	<p>ふるさと納税は自主財源の確保だけでなく、市の重点施策や将来像を全国に発信するシティプロモーションとしての側面も持っている。本市においては、子育て支援や若者支援の充実を掲げている一方で、その関連施策をふるさと納税の使途として明記していない状況にある。そこで市長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和7年度のふるさと納税における使途別の寄附件数及び寄附金額について2. 子ども・子育て支援をふるさと納税の使途の1つとして項目に明記する考えはないか3. 若者の定住促進、人材育成及び関係人口創出などを目的とした若者支援についても使途の1つとして項目に明記する考えはないか4. 子ども・子育て支援や若者支援をふるさと納税の使途として明記することは、市の重点施策を発信するシティプロモーションとしても有効と考えるがどうか	市長
家事支援の国家資格化による本市の介護・福祉・子育て施策への影響について	<p>今年4月22日に開催された「日本成長戦略会議」において、高市総理は家事支援サービスに関する新たな国家資格の創設について、関係閣僚に検討を指示した。</p> <p>本市においても、介護、福祉、子育て分野において様々な支援制度やサービスが実施されている一方で、利用促進や人材確保などの課題も見受けられる。</p> <p>家事支援の国家資格化が実現した場合、既存制度との連携や役割分担、人材確保、住民サービスの充実など、本市にも一定の影響が生じることが想定される。そこで市長、教育長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本市における家事支援を伴う介護、福祉及び子育てサービスの現状と課題について2. 家事支援に係る国家資格の創設が、本市の介護、福祉及び子育て施策にどのような影響を与えているのか	市長 教育長

<p>HiLMOの将来構想と地域経営戦略について</p>	<p>一般社団法人東かがわ地域経営機構(HiLMO)が今年度より新たに発足した。観光振興から地域経営へと役割を広げる中で、地域経営組織(LMO)としてどのような価値を創出し、成果を目指すのかを明確にすることは重要である。また、限られた人員と財源の中で成果を生み出すためには、何を重点的に行い、何を行わないのかを整理した戦略的な運営が求められる。</p> <p>そのためにもHiLMOには個別事業の実施主体としての役割以上に、地域資源、民間事業者、市外パートナーをつなぎ、地域全体の価値向上を図るマネジメント機能が期待される。</p> <p>市とHiLMOは連携して事業を進めていることから、以下について市長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HiLMOについて、市はどのような使命、役割、将来像などを期待しているのか 2. HiLMOを将来的にどのような地域経営組織として育成していく考えなのか。また、その中長期的な成果目標(KGI)及び進捗を測る指標(KPI)をどのように設定しているのか 3. 現在の組織体制及び今後必要な人材戦略についてどのように考えているか 4. 海岸、牡蠣養殖、手袋産業、食、歴史文化など、本市固有の地域資源をデジタル技術により可視化し、映像配信やストーリー発信につなげる戦略を検討してはどうか 5. 市外企業や団体を地域経営のパートナーとして巻き込む戦略をどのように考えているのか 6. 限られた人員と財源であることから、すべての事業や要望に対応すれば本来の目的が達成できない可能性がある。HiLMOが担う事業については、KGIやKPIなどの目標・成果指標に照らし、優先順位をつけ選択と集中に取り組むべきと考えるがどうか 	<p>市長</p>
------------------------------	---	-----------

令和8年第3回（6月）定例会一般質問通告一覧表

令和8年6月22日（月）

番号	氏名	質問事項
1	5番議員 久米 潤子	<ul style="list-style-type: none"> ・主権者の権利を守る支援のあり方について ・「手話リンク」の導入について ・認知症ケア技法「ユマニチュード」の普及と啓発について
2	9番議員 宮脇 美智子	<ul style="list-style-type: none"> ・A I時代における情報モラル教育と道徳教育の在り方について ・持続可能なまちづくりの観点からの里道・農道等の維持管理について
3	3番議員 淀 紀清	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍推進と仕事・子育ての両立支援について ・A S Aトライアングル交流圏の今後について
4	14番議員 渡邊 堅次	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーサンと安戸池周辺の整備について ・旧引田温水プールの利活用と引田スポーツセンター周辺の整備について ・田の浦野営場の有料化について ・千足ダムの桜の維持管理と周辺整備について
5	16番議員 大藪 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における小中学校体育館の空調設備の整備について



受領 令和8年6月5日 午後 2 時 54分

令和 8年 6月 5日

東かがわ市議会議長
工藤正和殿

東かがわ市議会議員 久米潤子 

一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
主権者の権利を守る支援のあり方について	精神的な抵抗を感じることなく投票ができるよう、投票所における「心のバリアフリー」向上を目指すことが重要と考える。他自治体で導入が進む「投票支援カード」について、本年8月執行予定の香川県知事選挙から本市でも導入してはどうか。	選挙管理委員会委員長
「手話リンク」の導入について	利用者が自治体ホームページに設置したバナーから、事前登録なしで手話通訳オペレーターを介して各部署へ問い合わせができる「手話リンク」というサービスがある。また、このサービスは初期費用をかけず導入できる。そこで、以下2点伺う。 (1) 「手話リンク」が持つ利点についての見解を伺う。 (2) 障がいのあるなしに関わらず、誰もがスムーズに行政サービスにアクセスできる環境づくりの一環として、本市ホームページ等への「手話リンク」導入に向けた見解を伺う。	市長
認知症ケア技法「ユマニチュード」の普及と啓発について	本市は認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指している。認知症ケア技法の一つである「ユマニチュード」を市全体に広める考えについて、以下4点伺う。 (1) 「ユマニチュード」について、介護の専門職や在宅介護家族に対し、専門的な研修・情報提供を行ってはどうか。 (2) 市民向け公開講座や、広報紙・SNSを活用した認知度向上に取り組む考えは。 (3) 初めて障がいについて授業で学ぶ小学5年生に対し、思いやりの心を育むため「ユマニチュード」を取り入れた体験型研修を行っては。 (4) 「ユマニチュード」は行政全体の対応力強化にもつながると考えるため、市職員への研修を取り入れる考えは。	市長 教育長



受領 令和 8 年 6 月 9 日 午後 4 時 10 分

令和 8 年 6 月 9 日

東かがわ市議会議長
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 宮脇 美智子



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
AI 時代における情報モラル教育と道徳教育の在り方について	<p>近年、生成 AI は急速に普及しており、情報検索、画像生成等、様々なことが簡単にできる時代になっている。こうした技術は多くの恩恵をもたらす一方で、誹謗中傷、匿名攻撃、フェイク情報、AI 生成物の拡散等、様々な問題も生じている。そのような中、重要になるのは、単に「AI を使えるか」ではなく、「AI をどう使うのか」、「何を信じ、どう判断するのか」という、判断の軸を持つための教育であると考え。そこで以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">① 現在、本市では、情報モラル教育をどのように実施しているのか。② 本市では、他者尊重や責任ある発信等について、どのような教育を重視しているのか。また、子どもたちが AI を活用しつつも、最終的には自ら考え、判断し、責任を負う主体となるために、どのような教育を行っていくのか。③ 本市では、AI 時代において、子どもたちにどのような善悪や価値秩序を身につけさせるべきと考えているのか。また 本市の道徳教育は、子どもたちが「何が善か」「なぜ他者を尊重すべきか」といった価値秩序そのものを主体的に考える力を育む内容となっているか。④ 文部科学省資料では、「生命への畏敬の念」や「崇高なものとの関わり」も記されており、AI 時代においても、このような感受性を育むため、道徳教育は重要と考えるが、本市ではどのように実施していく考えか。⑤ 教育基本法では、「宗教に関する寛容の態度」や「宗教に関する一般的教養」が尊重されなければならないと記されている。AI 時代における価値秩序形成に関し、宗教的素養は、今後ますます重要な要素の一つであると考え、本市では、「宗教的情操教育」についてどこまでが可能であると捉えているか。⑥ AI 時代においては、効率化や最適化が進む一方、人間同士の関	教育長

<p>持続可能なまちづくりの観点からの里道・農道等の維持管理について</p>	<p>係性、地域文化、共同体、芸術等の重要性が相対的に高まると考えるが、本市では、地域行事、自然体験、伝統文化、世代間交流等を、教育資源としてどのように活用していく考えか。</p> <p>市民の生活環境の維持にも直結する里道・農道、水路等のいわゆる地域の法定外公共物の維持管理に関して市長に伺う。</p> <p>① 市長は地域の法定外公共物を、地域住民の協力により維持管理が行われていることについてどのような見解か。また、地域の法定外公共物の最終的な管理責任は誰にあると考えているか。</p> <p>② 現行の原材料支給補助金について、「使い勝手が悪い」等の声も聞く。制度本来の趣旨である、「地域の公共施設の良好な維持管理の奨励」といった、目指すべき成果につながらない事案も増えてきているのではないかと考えるが市長の見解は。</p> <p>③ 現行の原材料支給補助金制度は、場合によっては地元団体の財政負担が発生することもある。市長は地元団体に財政負担を求めることについてどのように捉えているか。また、地元団体が財政負担できず、事業を進めることができない場合、市としてどのように対応するのか。</p> <p>④ 地元団体の財政負担なしに里道や農道等の補修や改修が進むような実効性のある制度を検討する考えは。</p> <p>⑤ 今後も人口減少、高齢化が進んでいく本市の状況を踏まえて、持続可能なまちづくりの観点から、地域の法定外公共物をどのような方法であれば適正な維持管理をしていくことができると考えるか。</p>	<p>市長</p>
--	--	-----------



受領 令和 8 年 6 月 10 日 午後 8 時 47 分

令和 8 年 6 月 10 日

東かがわ市議会議長
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 淀 紀清



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
女性の活躍推進と仕事・子育ての両立支援について	<p>先般、女性首長の産休取得が全国的な話題となったが、仕事と子育ての両立については、近年、様々な議論が行われている。本市においても、女性が妊娠・出産後もキャリアを継続し、安心して働き続けることができる環境づくりは重要な課題であると考え</p> <p>る。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>①本市職員における女性管理職登用の現状について</p> <p>②本市職員における男性の育児休業の取得状況について</p> <p>③本市職員における女性の活躍推進に関する今後の方向性について</p> <p>④女性がライフステージの変化にかかわらず活躍できるまちづくりに向けた本市における今後の支援策について</p>	市長
ASAトライアングル交流圏の今後について	<p>東かがわ市、鳴門市、南あわじ市で構成するASAトライアングル交流圏は、サイクリングをはじめとした事業を展開し、観光振興や広域的な人の流れ・地域間交流の創出など、今後の地域活性化において重要な役割を担うものとする。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>①ASAトライアングル交流圏の今後の展望について</p> <p>②3市の地域資源を生かした広域観光の推進について</p> <p>③ASAトライアングル交流圏の発展に向け、本市が果たすべき役割について</p>	市長



受領 令和 8 年 6 月 11 日 午前 9 時 5 分

令和 8 年 6 月 11 日

東かがわ市議会議長

工藤正和 殿

東かがわ市議会議員

渡邊 堅次



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
ワーサンと安戸池周辺の整備について	<p>現在、(株)ソルトレイクひけたが指定管理を行っているワーサンや体験学習館マーレリッコは、安戸池周辺の拠点施設になっているが、年月の経過に伴い、老朽化が見られる。また、せとうち観光専門職短期大学の「東かがわ市『観光まちづくりエリアビジョン』の策定のための調査報告書」では安戸池のイメージは、「見苦しい」、「やや見苦しい」、「どちらともいえない」の合計が63%であった。これらを踏まえて、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 店舗入口のスライドドアは、非常に重く、開きづらいことから早急に改修を行う考えについて。2) ワーサンに隣接する私有地を用地買収して整備する考えについて。3) マーレリッコを今の時代に沿った施設にリニューアルする考えについて。	市長
旧引田温水プールの利活用と引田スポーツセンター周辺の整備について	<p>引田スポーツセンター周辺では、翼山温泉のリニューアルが行われ、より一層人々が集い、にぎわうことが期待される。</p> <p>そこで、隣接している旧引田温水プール施設の利活用と引田スポーツセンター周辺の整備について、サウンディング型調査を実施するなど、検討する考えについて伺う。</p>	市長 教育長
田の浦野営場の有料化について	<p>田の浦野営場は、利用料が無料で予約不要、トイレ設備等も充実し、交通アクセスも良いことから、大勢の県外市外の方が利用する素晴らしいキャンプ場である。しかし、今後、維持管理費、修繕費等の財源確保が課題になってくると考える。そこで、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) トイレ施設の建設費と野営場全体にかかる年間あたりの水道、電気料金など維持管理に要する費用について。2) 田の浦野営場を有料化する考えについて。	市長

<p>千足ダムの桜の維持管理と周辺整備について</p>	<p>千足ダムの桜は、千足ダム落成記念として、合併前の引田町民など多くの方の寄付金により植樹された。ふるさと愛が詰まった引田地区の桜の名所であるが、植樹から38年が経ち、荒廃が進んでいるように見受けられる。そこで、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 今後、千足ダムの桜の維持管理を本市で実施する考えについて。2) バーベキューハウス跡地の整備を行う考えについて。	<p>市長</p>
-----------------------------	---	-----------



受領 令和 8 年 6 月 11 日 午前 9 時 10 分

令和 8 年 6 月 11 日

東かがわ市議会議長
工藤 正和 殿

東かがわ市議会議員 大藪 雅史



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
本市における小中学校体育館の空調設備の整備について	<p>本定例会中に開催した民生文教常任委員会をはじめ、執行部から議会へのこれまでの説明によると、今後整備する市内小中学校体育館の空調設備の仕様については、電気式 (EHP) を用いる意向が強いと感じた。</p> <p>私が調査したところによると、香川県では県立の全ての学校の体育施設の空調設備は、災害時 (停電時) にも使え、発電機としても使える自立式のガス式 (GHP) にしていくそうである。県内市町においても 7 自治体のうち 6 自治体はガス式を選択しており、その理由の 1 つ目は、避難所指定をしていることから災害時 (停電時) のリスクを分散するためであり、2 つ目は、ライフサイクルコストがガス式のほうが安いという計算となっていたためということである。そこで以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本市のみが、電気式よりもガス式のほうがライフサイクルコストが高いという計算になっているが、その違いをどう捉えているのか。2. 大規模災害時におけるリスク分散といった観点からも、一定期間避難生活を送る場所として、停電時にも使える空調を備えた施設が市内にあればと考える。小中学校の体育館のうち、半数の施設でもガス式を導入する考えはないか。	市長 教育長